

テーマ：観光（実践校）

胆振管内 安平町立追分小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・「ふるさと安平町や追分地区のよさに気付き、愛着や誇りをもつ人材を育てること」をテーマとして、地元観光に関心を持ち、発展に寄与しようとする意識を高めていくことができるよう、観光資源について調査・体験したり、他地域と比較して考えたりする学習活動を展開しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

安平町の有名なことや盛んなことなど、特徴について調べるとともに、「さらによい町をつくる」ためにはどうすればよいか、今後の町の在り方や自分たちの生活との関わりについて考えることを課題に設定しました。

(2) 情報の収集

家族や友人、教員などとの会話を通して「わが町の自慢」についての知識を深め、安平町の気候・風土・環境・産業・特産物・施設の特徴について得た情報の中から児童が選択して、観光パンフレットやインターネットを使ってさらに詳しく調べました。また、学校に隣接する道の駅や公園施設を訪問してインタビューを行うなど、情報収集を行いました。

(3) 整理・分析

収集した情報を整理・分析し、わが町が自然環境や食材に恵まれていることや、そのことを生かして町全体で観光PRを行っていることなどに気付くことができました。

(4) まとめ・表現

児童一人一人が自分で調べたことについて新聞にまとめた後、学級内で発表を行いました。発表を聞いて交流したり、質問に答えたりする活動を通して、改めて「ふるさと安平町」への愛着や誇りを感じるとともに、町にある観光資源や自然環境に大きな価値を見出すことができました。

②児童の感想等

- ・道の駅に家族で行った時に売っていた野菜が、地場産給食で使われていることがすごくうれしいです。
- ・おみやげのアサヒメロンやカマンベールチーズだけでなく、きれいな町や親切でわかりやすい案内など、安平のよさをもっともっと自慢できるようにしたいです。
- ・友だちの調べたことを聞いて、施設のことやきれいな町の景色のことなどふるさとのよさをたくさん知ることができました。



【1人1台端末の活用】



【児童がまとめた新聞】



【発表の様子】

■取組の成果（○）と課題（●）

- 児童アンケートの「今、住んでいる地域の歴史や自然に関心がありますか」という設問に肯定的に回答した児童の割合が57%から93%と増加し、地域に対する愛着を深めることができました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた観光施設への全員での訪問ができなくなるなど、指導計画や実施時期の変更を余儀なくされたことから、次年度は、感染状況等を踏まえて町役場や観光協会と連絡を密にしながら指導計画や活動内容を検討する必要があります。